

Princeton

USB2.0対応フィルムスキャナ

デジタル 造 PCA-FSC

活用ガイド

Media Impression 編

本書では、スキャンの手順や画像編集ソフトウェア「Media Impression」使い方を紹介します。

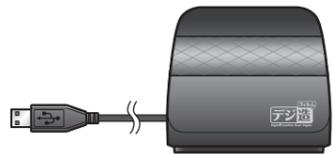


本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってソフトウェアのインストールを行ってください。

スキャンしてみよう

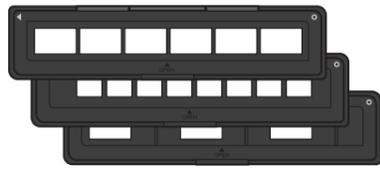
手順1 下記のものを用意します。



スキャナ本体



スキャンしたいフィルム



フィルムカートリッジ



Media Impressionがインストールされているパソコン
(→設定ガイド参照)

手順2 スキャンするフィルムをカートリッジに入れます。

ここでは、135フィルムを例に、フィルムの取り付け手順を説明します。

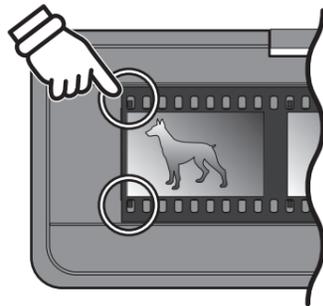
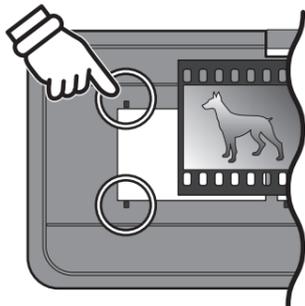


135フィルム用カートリッジ



カバーを開けます。

表を上にして、突起に合わせてフィルムを入れます。



フィルムを入れる際は、カバーの突起とフィルムの穴を合わせて入れてください。

スライドフィルムの場合は、溝に合わせてフィルムを置いてください。



スライドフィルムの場合

フィルムを入れます。

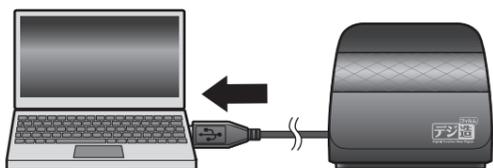


蓋を閉じます。



ゴミやほこりがフィルムに付着している場合はフィルムを綺麗にしてからセットしてください。

手順3 スキャナをパソコンに接続します。



パソコンがスキャナを自動的に認識します。Windowsの場合、初めてパソコンに接続した場合、下記のような画面が表示される場合がございます。



表示が消えたら、準備完了です。

(画面はWindows 7の例)

右上「手順4」に進む

手順4 Media Impression を起動します。

Windows

デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから「Media Impression」を選択して、ソフトウェアを起動します。

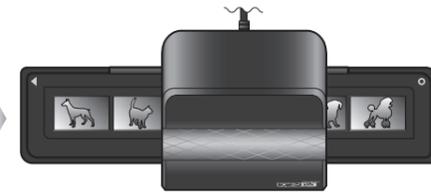
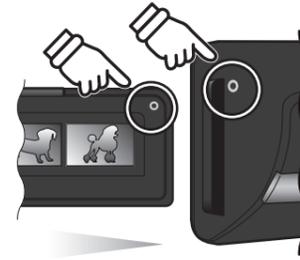
Mac

アプリケーションから「Media Impression」を選択して、ソフトウェアを起動します。

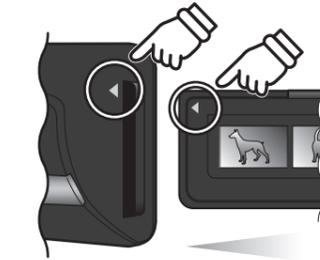


手順5 スキャナにフィルムカートリッジを挿入します。

スキャナ本体左右にある、「カートリッジ挿入口」にフィルムカートリッジを挿入します。

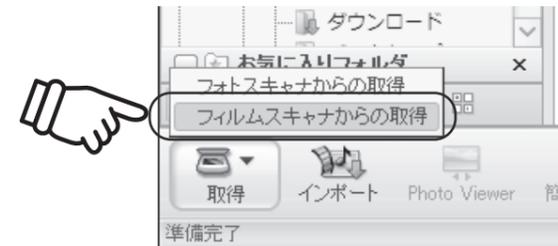
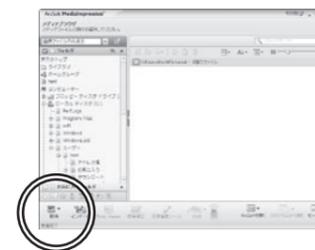


左右どちらからも挿入することができます。挿入する際は、挿入口とカートリッジの印「◀○▶」を合わせてください。



手順6 [取得]をクリックして、フィルムスキャナからの取得を選択します。

画面左下の[取得]をクリックして、「フィルムスキャナからの取得」をクリックします。



(画面はWindows 7の場合)

手順7 「取得」画面で、スキャンする際の画質を設定します。



設定が完了したら「OK」をクリックします。

形式	写真の形式をJPG (JPEG) またはTIFから選びます。
画質	画質を「最高画質」、「高画質」、「標準画質」、「低画質」の中から選びます。
保存場所	スキャンされた画像が保存される場所を選択します。任意のフォルダに保存先を変更できます。
スキャンオプション	スキャンするフィルムの種類と解像度を設定します。
フィルムサイズ	135mmフィルムか110mmフィルムかを選択します。
フィルムタイプ	フィルムタイプを選択します。
色深度	24bit true color
DPI (解像度)	1800または3600*から選びます。

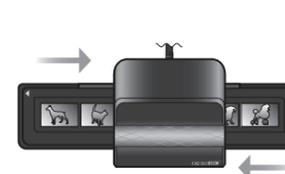
*3600dpi設定時には、フィルム読み込みの際に画像補正されています。



高画質でスキャンするには? 形式を「TIF」、画質を「最高画質」、DPIを「3600」にすると、高画質でスキャンできます。高画質でスキャンされる画像は、ファイルサイズが大きくなるので注意してください。

手順8 フィルムの位置を調整して、[キャプチャ]をクリックします。

プレビュー画面を見ながら、フィルムの位置を調整します。[キャプチャ]をクリックするとスキャンされた画像がパソコンに保存されます。

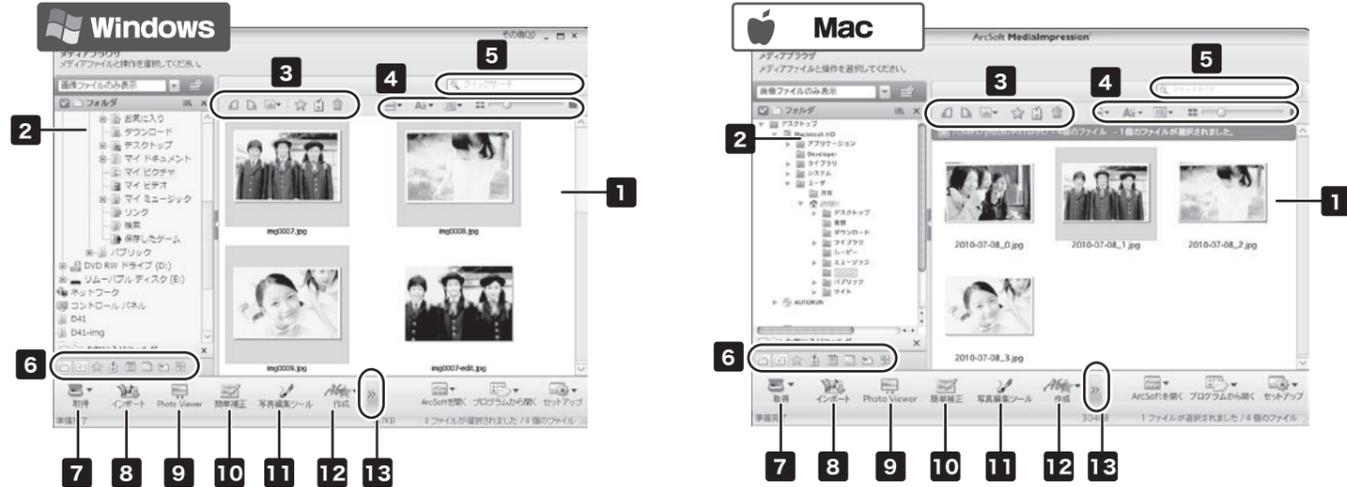


(画面はWindows 7の場合)

裏面に進む

画面表示と主な機能

WindowsとMacでは、一部の機能や名称が異なります。



- サムネイル表示画面。エクスプローラ画面で選択されている場所に保存されている画像を一覧表示します。
- エクスプローラ画面。画像の保存場所を選択します。
- 選択した画像の「回転」「一括処理」「レート付け」「タグ付け」「削除」などを行うボタンです。
- 画面の表示方法を変更します。ボタンをクリックするか、スライダーをドラッグすることで、表示が変更されます。
- 検索欄。ファイル名等を入力して、ファイルを検索することができます。
- 画像に設定されている「タグ」や「レーティング」別に画像を表示します。
- スキャナから画像を取り込む際に使用します。スキャンする際は、スキャナがパソコンに接続されている状態で、「取得」をクリックして表示されるサブメニューから、「フィルムスキャナからの取得」をクリックします。
- インポート画面を表示します。スキャナから読み込まれた画像を表示します。
- サムネイル表示画面で選択されている画像を拡大表示します。
- 簡単補正ウィザードを表示します。サムネイル表示画面で選択されている画像を簡単に補正することができます。
- 画像編集ツールを表示します。サムネイル表示画面で選択されている画像を修正、加工することができます。
- クリックするとサブメニューが表示され、画像にフレームを付けたり文字を入れるなどの加工をします。
- クリックするとサブメニューが表示されます。スライドショーの作成や、メールの作成をします。

「フォトスキャナから読み込む」は使用できません。

基本操作

本ソフトウェアでは、画像の修正や加工、スライドショーを作成するなど、様々な操作が可能です。主な操作は下記の通りです。



- エクスプローラ画面で、画像が保存されているフォルダを選択します。スキャナで画像を読み込んだ直後は、新たに読み込まれた画像が自動的に表示されます。
- 修正や加工したい画像をクリックして選択します。キーボードの「Ctrl」や「Shift」キーを押しながらクリックすると、複数の画像を選択することができます。
- 「タグ」や「レーティング」を設定したり、「画像補正」など、処理したい機能のボタンをクリックします。

簡単補正ウィザード

本ソフトウェアでは、スキャナで読み込んだ画像を、簡単な手順で修正することができます。

- 修正する画像をクリックして、簡単補正ウィザードを起動します。

『簡単補正』をクリックします。



- 簡単補正ウィザード画面が表示されます。

補正を行いたい項目をクリックしてチェックをつけます。



チェックをつけたら、[次へ]をクリックします。

以降、チェックをつけた補正項目が、順次表示されます。

画面左側のスライダーやボタン等の調整で、補正を行います。



補正が終わったら、[次へ]をクリックして、次の補正項目に進みます。



補正が全て終了したら、[名前を付けて保存]をクリックして、補正した画像を保存します。

一つ前の作業に戻る場合は、[戻る]をクリックします。補正した画像を保存しないで簡単補正ウィザードを終了する場合は、[キャンセル]をクリックします。

写真を編集する

簡単補正よりも、さらに細部を修正することができます。

- 修正する画像をクリックして、画像編集ツールを起動します。

『画像編集ツール』をクリックします。



- 画像編集ツール画面が表示されます。

タブをクリックして、補正を行いたい項目を選択します。



画面左側のスライダーやボタン等の調整で、補正を行います。

補正が終わったら、[次へ]をクリックして、次の補正項目に進みます。

スライドショーを作成する

選択した画像でスライドショーを作成することができます。

- スライドショーにする画像を複数選択します。

サムネイル表示画面から、画像を選択します。

Windowsの場合、キーボードの「Shift」や「Ctrl」キー、Macの場合は、「Shift」や「command」キーを押しながらクリックすると、複数の画像を選択することができます。

- スライドショー作成をします。

[>>]をクリックして、『スライドショー』→『新しいスライドショーを作成』の順にクリックします。



トランジションエフェクトやBGMを設定します。

[プレビュー]をクリックすると、現在の設定でスライドショーが再生されます。

設定が完了したら、[保存]をクリックしてスライドショーを保存します。

